

授業科目名	乳児保育Ⅱ	担当教員名	森下 真由美
必修/選択	必修	開講学年・学期	1年 後期 (年間開講数 1講座)
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	1単位 (15時間)
施行規則に定める科目区分等	保育の内容・方法の理解に関する科目	授業方法/担当形態	演習 / 単独
		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 保育士として長年にわたる実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。
授業の概要及び全体目標	新生児～二歳児の成長発育や課題を理解し、乳児保育の目標とねらい及び、保育内容における実践等の知識や技術を習得する。 また、乳児の発達過程における玩具の提供の大切さを考え、感覚・情緒・社会性及び子育て支援等の保育の実践からその対処を学ぶ。		
到達目標	(1)乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について理解する。 (2)保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 (3)3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。 (4)乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域との関係機関との連携について理解する。※「乳児保育」とは、3歳未満児を念頭においた保育を示す。		
テキスト	「資料でわかる乳児の保育新時代」乳児保育研究会編著(ひとなる書房)		
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社) 『新訂 見る・考える・創り出す 乳児保育』(明文書林)		
成績評価の方法	平常点(受講態度等) 10% 発表 20% 提出物 20% 定期試験 50%		
授業計画	授業の内容		到達目標番号
第1回	乳児保育の内容と方法 あそびのあり方と保育実践 (DVD参照) 子どもの主体性と自己の育ち あそびを中心とした乳児保育の内容と方法 手作りおもちゃについて		(1),(2)
第2回	あそびと環境 大人とともに遊ぶ ものと遊ぶ 友達とともに遊ぶ		(1),(2)
第3回	子どもの一日の生活の流れと保育の環境 月齢ごとの遊びの内容 あそびにおける保育士の役割		(2)
第4回	子どもの生活やあそびを支える環境の構成 手作りおもちゃ発表		(2)
第5回	乳児の発育・発達を踏まえた生活と援助の実際 食事における配慮事項(離乳食) 排泄における配慮事項		(2)
第6回	子ども同士の関わりとその援助 保育の中で乳児の発達を見つめる視点 乳児保育における配慮の実際 保育実践より学ぶ		(1),(2),(3)
第7回	保育の計画と記録 乳児保育における計画の実際 子どもの姿・活動の記録		(1),(4)
第8回	全体的な計画から指導計画へ 指導計画を作成するときのたいせつなこと さまざまな指導計画 個別的な指導計画と集団の指導計画 乳児保育における配慮事項についての学びをレポートにまとめる		(1),(4)
定期試験	筆記試験		